

# 取組個票①5年間の取組全体概要

|               |  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
|---------------|--|-------------------------|-------|------|------------------------------|------|---|------|---|------|--|------|--|------|--|--------|--|
| ①取組名          | 取組①-1-a<br>2)  | 北九州スマートコミュニティ創造事業       | 【環境局】 |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ②対応する目標・課題    | 地域でエネルギーを賢く無駄なく使いこなす都市を目指す。  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ③対応する評価指標・目標値 | ■評価指標:二酸化炭素排出量   | ■目標値:50%削減(平成17年度一般街区比) |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ④取組内容         | <p>地域全体の電力需給状況に応じて、地域内のエネルギーを賢く使いこなす仕組みである地域エネルギーマネジメントシステムを構築し、また、需要家側から制御を促すダイナミックプライシングやインセンティブプログラムの仕組みを活用することで、地域全体の低炭素化を実現する。</p> <p>(1)新エネルギー等10%街区の整備<br/>現在21,000kwの電力供給が行われている東田地区において、太陽光発電、風力発電や燃料電池等を導入し、地区内消費電力の10%以上を新エネルギー等で供給する。</p> <p>(2)建築物等への省エネシステム導入<br/>地区内の一般家庭やオフィス、商業施設、博物館、工場、病院、ガソリンスタンドなど多様な建築物について、ITや蓄電池を駆使して、それぞれの用途に応じて最大限の省エネルギー効果が発揮でき、かつ地域全体のエネルギーマネジメントとの協調が図れるHEMS、BEMSを開発、導入する。</p> <p>(3)地域節電所を核とした地域エネルギーマネジメントシステムの構築<br/>需給両面からのエネルギー制御を目指し、上記①、②と基幹電力システムを融合させ、デマンドレスポンス、EV、蓄電池等を駆使し、地区全体のエネルギーマネジメントを可能とする「地域節電所」を整備する。</p> <p>(4)都市交通システム等「次世代のあるべき地域社会構造」の構築<br/>地区内に、電気社会に即応した充電施設等の基盤を整備するとともに、次世代自動車の大量導入を図り、オートモビリティシステムの姿を具現化する。さらに、スマートグリッドにより整備する情報通信基盤を活用して「見守りサービス」「健康管理サービス」など高齢社会に対応する新サービスにも取り組む。</p> <p>(5)「(仮称)スマートシティセンター」の整備<br/>国内外の主に技術者など専門家向けには、中核的な施設である地域節電所を含め、事業全体を説明し、実際に体感できる仕組みを構築する。また、地域住民をはじめとする一般市民向けには、スマートシティを体験できる施設として、既存の環境学習施設である「環境ミュージアム」を再整備する。</p> <p>(6)ITインフラを活用したまちなか案内システムの整備<br/>地区内で整備される様々な新エネルギーやエネルギーマネジメントシステムを、IT技術などを活用して解説する案内システムを構築する。具体的には、携帯電話やスマートフォン、タブレット端末などを用いて、案内板などを読み込むことで施設の取組などの解説が行えるように整備する。</p> <p>(7)「東田エコツアー」の環境整備<br/>地区内の技術実証を行っている施設などでの取組事業を紹介する案内板の設置やマップの製作などを行い、団体の来訪者のみだけでなく、個人の来訪者にも対応できる仕組みを整備する。また、所要時間や見学したい施設の種別など来訪者のニーズに合わせた見学コースの充実を図る。</p> |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑤エリア          | 八幡東区東田地区   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑥主体           | 北九州市、北九州スマートコミュニティ創造協議会  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑦活用した国等の制度    | 次世代エネルギー社会システム実証事業費補助金(経済産業省)<br>環境未来都市先導的モデル事業費補助金(内閣府)   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑧地域の関与        | 北九州スマートコミュニティ創造事業実証事業費補助金(北九州市)(23年度～)<br>住宅用太陽光発電導入費補助金(北九州市)<br>事業所用見える化補助(北九州市)<br>EV及び充電インフラ整備助成(北九州市)<br>研究開発補助(北九州市)   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑨スケジュール       | <table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td>地域節電所の設置、スマートメーター等関連機器の開発・導入</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、環境未来都市国内外発信拠点整備</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>実証成果の取りまとめ、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信<br/>事業終了</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年度以降</td> <td></td> </tr> </table>  |                         |       | 23年度 | 地域節電所の設置、スマートメーター等関連機器の開発・導入 | 24年度 | 地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、環境未来都市国内外発信拠点整備 | 25年度 | 地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信 | 26年度 | 実証成果の取りまとめ、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信<br>事業終了 | 27年度 |  | 28年度 |  | 29年度以降 |  |
| 23年度          | 地域節電所の設置、スマートメーター等関連機器の開発・導入   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 24年度          | 地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、環境未来都市国内外発信拠点整備  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 25年度          | 地域エネルギーマネジメントシステムの技術実証・社会実証、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 26年度          | 実証成果の取りまとめ、城野地区・釜石市等への成果の展開【①1a(3)】【③1a】、海外ビジネスモデルの検討【③2b】、国内外への発信<br>事業終了   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 27年度          |  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 28年度          |  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| 29年度以降        |  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑩他の取組との連携     | <p>取組名:【①-1-a】地域エネルギーマネジメント機能を実装した低炭素街区の形成・普及<br/>3)城野ゼロ・カーボン先進街区形成推進事業<br/>連携内容:本事業の内容・成果を、個別のまちづくりに展開する。</p> <p>取組名:【③-1-a】震災被災地復興支援<br/>1)スマートコミュニティ創造事業などの成果を活用した被災地復興支援<br/>連携内容:本事業の内容・成果を、岩手県釜石市に展開する。</p> <p>取組名:【③-2-a】アジア低炭素化センター<br/>2)海外とのネットワークを活用したマーケティング活動<br/>連携内容:本事業の内容・成果を、アジア低炭素化センターを通じアジア諸国に展開する。</p>   |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |
| ⑪自立・自律の方針・目標  |  |                         |       |      |                              |      |   |      |   |      |  |      |  |      |  |        |  |